

令和5年度市の決算概要

財務課 26-6803
※数字は四捨五入しているため、合計金額などが合わない場合があります

令和5年度の決算は、一般会計に特別会計と企業会計を合わせた市の歳入総額が50億7237万円、歳出総額が496億9824万円でした。歳入額から歳出額を差し引くと、7億7413万円の黒字となりました。

一般財源の決算状況

歳入では、地方交付税が103億783万円で、歳入総額の32.7割を占めます。市税が73億4310万円(23.3割)、借金である市債は15億9990万円(5.1割)でした。歳出では、高齢者福祉や障

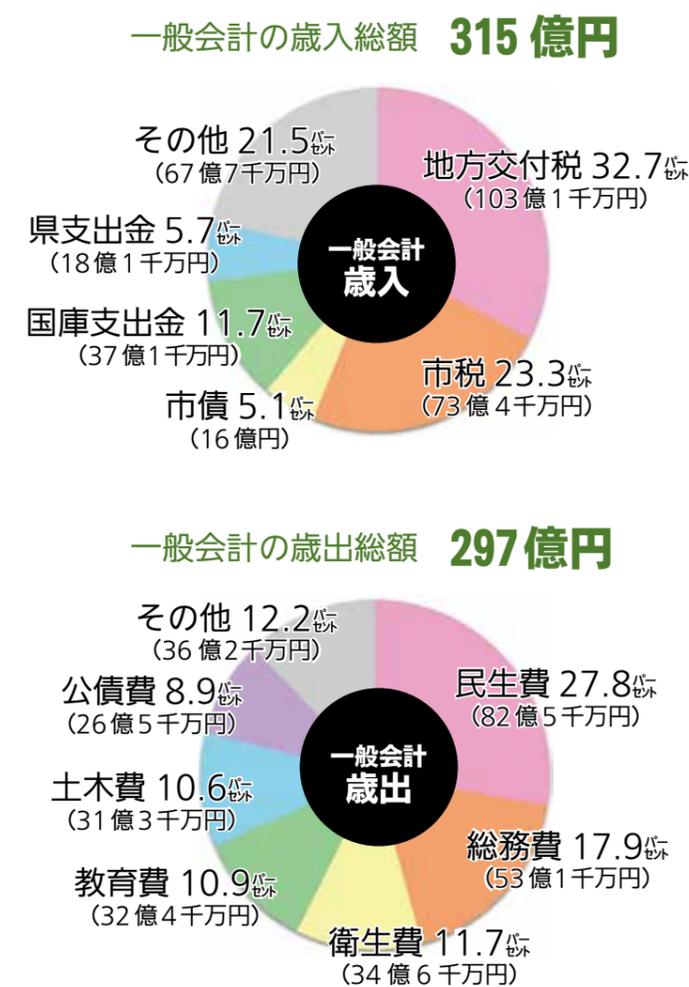
がい者福祉、生活保護などの福祉事業、こども園の運営、子育てのための手当の支給などの民生費が82億5103万円で、歳出総額の27.8割でした。職員管理や地域活性化事業などを含む総務費は53億576万円(17.9割)、借金の返済である公債費は26億5

187万円(8.9割)でした。借金は市民1人79万円。一般会計、特別会計、企業会計の借金の総額は369億1257万円で、昨年度と比べて19億6876万円の減額となりました。借金を市民1人当たり換算すると、79万4673円です。

※人口は、令和6年3月31日時点の4万6450人で換算詳しくは、市ウェブサイトに掲載しています



▲市ウェブサイト決算のページ



特別会計

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	49億4,198万円	49億3,998万円	200万円
介護保険事業	63億5,971万円	61億1,827万円	2億4,144万円
遠山財産区	30万円	22万円	8万円
上財産区	107万円	57万円	50万円
後期高齢者医療	8億6,238万円	8億3,925万円	2,313万円

企業会計

	収益的収支決算		資本的収支決算	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	16億4,328万円	16億4,481万円	4億6,343万円	9億5,152万円
下水道事業	19億2,835万円	18億9,898万円	5億6,160万円	10億2,337万円
病院事業	12億4,182万円	16億5,245万円	3億8,391万円	4億781万円
国民健康保険診療所事業	4億9,696万円	4億9,333万円	4,071万円	6,356万円

令和5年度 森林環境譲与税の活用状況

えなの森林 もり 活かして守って次世代へ

森林環境譲与税とは

森林環境譲与税は、市町村が森林の整備などを行うための財源です。令和元年度から市町村と都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数、人口による基準で案分して国から譲与されています。

令和5年度の主な活用状況

森林環境譲与税の使い道は、間伐などの森林整備や人材育成・担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発などと定められています。市では、



▲間伐された森林

主に次の事業に活用しました。

森林の整備

所有者から委託を受け、長い間整備されていない森林の間伐を行いました。令和5年度の間伐面積は、71.21haでした(1908万5千円)。

人材の育成

森林整備の初心者を対象としたチェーンソーなどの林業機械の安全講習会(98万7千円)や、農林業に関心のある方を対象とした農林業宿泊体験ツアー(96万8千円)を実施しました。

こども園に木製ロッカーを整備

市内こども園に木製ロッカーを設置しました(1145万円)。ファーストマイスプーン事業

保健センターでの健診時に、4カ月を迎える子どもに、市内に自生する木を材料とした手作りスプーンをプレゼントしました(90万円)。その他の活用状況は、市ウェブサイトを確認ください。

森林環境税が財源

森林環境譲与税は、森林環境税を財源としています。森林環境税は、令和6年度から1人当たり年額千円が課税されています。制度など詳しくは、総務省のウェブサイトを確認ください。



▲総務省の森林環境税、森林環境譲与税のページ

森林政課 26-6833



▲新たにこども園に設置した木製ロッカー



▲プレゼントした木のスプーン



▲チェーンソーなどの林業機械の安全講習会